



大阪対がん協会報

2022年12月号

公益財団法人 大阪対がん協会

〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

大阪国際がんセンター 患者交流棟 2F

TEL 06-7777-3565 FAX 06-6585-0353

E-mail: office@osakacancer.jp HP: http://www.osakacancer.jp

—— 第63回 ——

がん研究助成奨励金

2023年2月選考委員会／3月贈呈式

15件に各30万円贈呈

大阪対がん協会は公益目的事業の一つであるがん研究助成奨励金事業を今年も継続して実施いたします。がん研究助成奨励金は、がんの予防と治療等に役立つ研究や取り組みに従事している若手の個人やグループを助成・奨励するもので、今回で63回目になります。11月下旬から研究成果の応募を受け付け、選考委員による採点後、2月中旬の選考委員会で贈呈者を決定し、3月に贈呈式を開催します。

大阪府下の大学医学部、歯学部、薬学部、看護学部、研究機関、がん診療拠点病院など約130カ所に応募を呼びかけ、募集要項などの詳細はホームページにも公表しています。「基礎」「臨床」「疫学(社会医学)」「看護等(緩和ケア・リハビリ等)」の4分野で合計15件を上限として表彰し、奨励金30万円を贈呈いたします。

選考委員は、専門分野別に「基礎」5人、「臨床および疫学(社会医学)」5人、「看護等(緩和ケア・リハビリ等)」3人の13人の方に委嘱しました。選考委員長は松浦成昭会長(大阪国際がんセンター総長)が務めます。

「2022年度選考委員」(敬称略)

【基礎】

金井好克 (大阪大学大学院医学系研究科教授)
谷口直之 (大阪国際がんセンター研究所所長)
葛 幸治 (関西医科大学病理学講座教授)
西尾和人 (近畿大学医学部ゲノム生物学講座教授)
森 誠司 (森ノ宮医療大学保健医療学部教授)

辻仲利政 (和泉市総合医療センター
特別顧問・がんセンター長)
中川和彦 (近畿大学医学部主任教授)
宮代 勲 (大阪国際がんセンター
がん対策センター所長)

【看護等】

荒尾晴恵 (大阪大学大学院医学系研究科教授)
作田裕美 (大阪市立大学大学院看護学研究科教授)
鈴木久美 (大阪医科薬科大学看護学部教授)

【臨床および疫学】

渋谷景子 (大阪公立大学大学院医学研究科教授)
関本貢嗣 (関西医科大学外科学講座主任教授)

秋の啓発イベント

大阪対がん協会では公益目的事業としてがん知識の予防・啓発を訴えるセミナー・講演会を開催しています。従来は会場を使用した講演会を開催していましたが、新型コロナウイルス感染防止のため、講師の講演を録画し、その後インターネット上での録画映像の公開をしました。

秋に開催した主催のイベントは以下の3回です。

講座名	公開期間	テーマと講演内容
第95回成人病公開講座	6月8日～10月6日	「最新の大腸がんの診断と治療」 1. 最新の大腸がん診断と内視鏡治療 大阪国際がんセンター 消化管内科 副部長 竹内 洋司 2. 最新の大腸がんの手術 大阪国際がんセンター 消化器外科 副部長 原口 直紹 3. 大腸がん 最新の薬物療法 大阪国際がんセンター 腫瘍内科 副部長 西田 尚弘
がん予防キャンペーン 大阪2022	10月1日～3月31日	「今こそ受けよう！肺がん検診 ～大切な検診と適切な治療～」 1. 肺がんの内科治療はびっくりの進歩！ でも一丁目一番地は予防と検診です 大阪がん循環器病予防センター 副所長兼放射線健診部長 今村 文生 2. 肺がん検診 早く小さいうちに見つかった肺がんの治療について 大阪国際がんセンター 呼吸器外科 主任部長 岡見 次郎
第96回成人病公開講座	10月5日～11月30日	「知ってますか？泌尿器がん ～基礎知識と最新治療～」 1. 膀胱がんの診断と治療 大阪国際がんセンター 泌尿器科 副院長 西村 和郎 2. 前立腺がんの診断と治療 大阪国際がんセンター 泌尿器科 主任部長 中山 雅志 3. 腎臓がんの診断と治療 大阪国際がんセンター 泌尿器科 副部長 中井 康友

がん医療 展望 vol.16

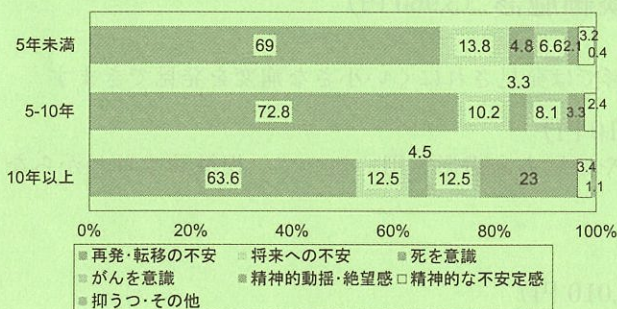
がんサバイバー

この数10年で、がん医療は大きく変貌しましたが、中でも最大の変化は治療成績の向上であり、その結果、がんサバイバーが著明に増加しました。がんが「不治の病」と呼ばれ、予後の悪い時代にはがんサバイバーという概念はなかったため、この言葉が出てきたのは喜ばしいことですが、医療提供側や行政には想定していなかったことでもあります。

2016年に改正されたがん対策基本法の第1条にがん基本法の目的は「がん患者(がん患者であった者を含む)がその状況に応じて必要な支援を総合的に受けられるようにすること」と明記されており、サバイバーという言葉は見られませんが、「がん患者であった者」という表現が初めて記されました。

第3期がん対策推進基本計画には「サバイバーシップ支援」という言葉が現われ、「がんになったその後を生きていく上で直面する課題を乗り越えていくためのサポートのこと」と定義されています。そして、サバイバーシップ支援として、就労を初めとして、偏見、経済的問題、外見変化、生殖機能、性生活、自殺、障がい等の社会的な課題を乗り越えていくためのサポートが必要と述べられています。

ではサバイバーはどんな悩み・不安を持っているのでしょうか?厚労省の「がんと向き合った78885人の声」という大人数の調査では、再発・転移のない患者が5-10年たっても5年以内とほぼ同じ訴えをしていること、10年以上の人でも64%の患者が再発・転移の不安を訴えています(図1)。5年生存率という言葉があるように通常は「5年生存すればもう大丈夫」と考えられているのですが、5年はおろか、10年経過してもまだ、再発しないか、転移は起らないかという不安を抱えている人がたくさんいるということです。図1で「死を意識」「がんを意識」の割合もずっと残っており、がんという壮絶な体験の記憶はいつまでも取れないことがわかります。



「がんと向き合った7885人の声」(厚労省がんの社会学に関する合同研究班)より

図1 再発・転移のない患者の経過年数別の訴え

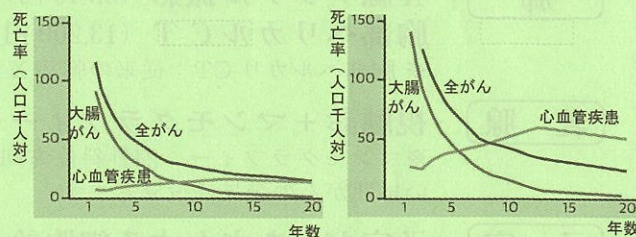


図2 年齢別がんサバイバーの死亡率曲線。左.60-79才、右.80才以上。それぞれのカーブは全がん、大腸がん、心血管疾患による死亡率を示す。(J Am Coll Cardiol CardioOnc 4:113-123,2022.)

がんの治療を受けて一定年数たったサバイバーがそのがんで死亡する確率は非常に低くなり、ほかの病気が問題で、特に循環器疾患の発症リスクが高くなります。図2は大腸がん患者を60-79才、80才以上に分けて、治療後の死亡率の変化を示したイギリスのデータで、それぞれのカーブが全がん、大腸がん、心血管疾患による死亡率を示します。治療してからの年数がたつにつれて、元の大腸がんで死亡する人は減少します。一方、60歳以上では心血管疾患で死亡する人が増加し、60-79才では術後8年、80歳を超えると5年で大腸がんの死亡率よりも多くなります。これはがんサバイバーでは循環器疾患に注意ということですが、大腸がん以外のがんによる死亡もかなりあります。黒線と赤線の間の差は大腸がん以外の別のがんで死亡した率を示しますが、経過年数とともに拡大しているのがわかり、新たな別のがんにも注意が必要です。

これらのことからがんサバイバーには健康管理が必要ということがわかりますが、現状の日本の医療では多くのがんは5年(一部は10年)経過すると「もう大丈夫」と経過観察が終わり、もう病院に行かなくてよいと喜んでいると思います。しかし、現実には循環器疾患や新たながんで悩む人が少なくないわけです。特に、若いがん患者ほど、先が長いこともあり、サバイバーに対する医療支援の必要性が言われるようになりました。元の医療機関がいつまでもフォローするのは現実的な話ではありませんので、前半で述べたようにがんサバイバーには心のケアも対応しつつ、新たながんや循環器疾患に対する健診システムが今後必要になると思います。大阪対がん協会も課題の1つとして取り組んでいきたいと思っています。

(会長 松浦 成昭)

春のがん検診 4月・5月に実施

2月6日(月)から受け付け

- ☐ 検診機関 大阪がん循環器病予防センター
〒536-8588 大阪市城東区森之宮1丁目6-107
- ☐ 検診期間 4月3日(月)から5月31日(水)まで
- ☐ 申込期間 2月6日(月)から3月10日(金)まで

検診項目

胃

X線デジタル撮影 16 方向 (10,010 円)

検査を受ける方は、前夜の夕食を午後 10 時までにとりください

お水・お茶は就寝前までかまいません

検査当日は、午前 7 時までにコップ 1 杯程度の水(約 200ml)を飲んでください

また、朝から禁煙してください

肺

X線デジタル撮影 (3,740 円) 喀痰細胞診 (3,960 円)

胸部ヘリカル CT (13,200 円)

※胸部ヘルカリ CT: 従来の胸部 X 線撮影では発見されにくい小さな病変を発見できます

乳 腺

視触診+マンモグラフィー (6,710 円)

※マンモグラフィー: 内外斜位方向撮影や頭尾方向撮影を用いるので、視触診ではわからない早期がんの発見に役立ちます

子 宮

子宮がんを主とする細胞診

頸部 (6,050 円) 頸部+体部 (10,010 円)

大 腸

免疫学的便潜血検査 (1,540 円)

申し込み受付後、採便キットを郵送させていただきますので、採便後、大阪がん循環器病予防センターまでお持ちください

※前立腺がんの検査もできます (3,520 円) 同時に申し込んでください

検診のお申し込みは 電話で

2月6日(月)からの受付を厳守してください

大阪がん循環器病予防センター(予約センター)

電話 **06-6969-6712**

受付曜日: 月曜日~金曜日(祝日を除く)

受付時間: 10時~12時 13時~16時

※「大阪対がん協会のがん検診希望」といってお申し込みください

受診票は後日、ご自宅に届きます